

社会科学学習指導案（地理的分野）

日 時 平成23年5月27日（金） 第2校時

対 象 1年4組（男子20名 女子20名 計40名）

指導者 教 諭 鈴 木 克 幸

1 単 元 「世界各地の人々の生活と環境」

2 単元の考察

本単元は、世界各地における人々の生活の様子とその変容について、自然及び社会的条件とどのようなかかわりがあるか、影響を与えているかについて学習する。世界の人々の生活は、地形や気候などの自然的条件や宗教や歴史的背景、民族構成などの社会的条件により、多様に広がっている。しかし、わたしたちが生きる現代社会は、気候や地形などの自然環境を生かした伝統的な住居や食事、服装などの文化や習慣が失われつつあり、画一化されているものも多くなってきている。そこで、世界の国々の人々がどのような自然及び社会的条件のもとで生活を営んでいるか、宗教と生活、文化、習慣はどのようにかかわっているかを理解していくことは、グローバル化が進む今日にあって、とても大きな意義がある。

生徒は、事前のアンケートによると、社会科の学習に関心をもっている生徒は34名（85%）おり、社会科の学習に意欲的に取り組んでいる。しかし、歴史的分野に関心をもっている生徒が36名（90%）いるのに対し、地理的分野に関心をもっている生徒が13名（33%）に留まり、地理的分野に苦手意識をもっている生徒が多いことが分かった。生徒は小学校6年生の時に、「我が国と経済や文化などでつながりが深い国の人々の生活の様子」について、学習してきた。「世界の人々の生活はどのような条件とかがかわりがあるか」という問いには、「気候や地形、宗教や民族」などを挙げた生徒が26名（65%）いた。一方で、例えば、「同じ暑い地域でも、衣食住の様子に違いが見られるのはなぜか」の問いには、多くの生徒が答えられなかった。これらのことから、世界の人々の生活を見る上での視点をもつことはできているが、世界の人々の生活を自然的条件や社会的条件と関連付け、考察することができていないことが分かった。

指導に当たっては、世界の人々の生活と大きなかかわりがある自然及び社会的条件に焦点を当て、世界の人々の生活が多様に広がっていることに気付かせるとともに、自然及び社会的条件の違いや共通点に関心をもたせたい。そこで、様々な自然及び社会的条件の下で生活を営んでいる人々の様子を写真や資料などの具体的な事例を通して、読み取らせることにした。また、本単元で学習する知識、概念や技能を確実に習得・活用させていくために、学習内容を再構成し、見通しを意識した単元指導計画を作成することにした。その際、生徒の発達段階を考慮し、1時間目にパフォーマンス課題「この国の様子か調べてみよう！」を示すことで、見通しをもたせる。そして、単元末にパフォーマンス課題に対して、自己の主張をまとめる時間を位置付け、予備的ルーブリックを活用して生徒に相互評価を行わせ、自己の主張を見直し、練り上げさせる活動に取り組みさせることにした。そうすることで、異なる文化を尊重しようとする態度を養い、地理的な見方・考え方を身に付けさせるとともに、生徒の地理的認識を深めていくこととした。

3 単元の学習内容の構造化



地球は、大陸や海洋、それらに位置する世界の国々や地域などによって構成されていること

世界の各地域に住む人々の生活は多様であり、それぞれの地域によって特色があること

世界の人々は、自然的条件、社会的条件の下で多様な生活を営んでいること

世界の人々の生活を、衣食住を中心に見ていくこと

世界の人々の衣食住には、様々な違いがあること

- 民族衣装
- 伝統的な食事
- 世界の住居

暑い地域、寒い地域に暮らす人々は、気候を生かした生活を営んでいること

- 乾燥帯
- 亜寒帯
- 毛皮の服
- 土づくりの家
- 寒帯
- チャドル
- イグルー

世界の人々は、様々な自然環境を生かして、生活を営んでいること

山岳地域、島嶼地域に暮らす人々は、気候や地形を生かした生活を営んでいること

- 高山
- 熱帯
- 高床式の家
- どうもろこし
- 島国
- 熱帯雨林
- ポンチョ
- タロイモ

温暖な地域、低い地域に暮らす人々は、気候や地形を生かした生活を営んでいること

- 温帯
- ボルダール
- 石づくりの家
- 木づくりの家
- 酪農
- 低地
- 木ぐつ
- 米
- 小麦

世界の人々の生活は、宗教や歴史的な背景などの社会的条件がかかわっていること

キリスト教やイスラム教などの宗教や歴史的な背景が人々の生活にもかかわりがあること

- キリスト教
- ヒンドゥー教
- 仏教
- 言語
- イスラム教

パフォーマンス課題「どこの国の様子が調べてみよう！」に取り組み、今までの学習内容を基に、自己の主張を練り上げる場面

- パフォーマンス課題の追究
- パフォーマンス課題に対する練り上げ
- 予備的ルーブリックによる相互評価

世界の州には、自然や産業、生活、文化などに地域的特色が見られること

世界の人々の生活や文化と自然環境、社会的条件、他地域との結び付きや違いを見出すこと

取り扱う中単元

4 単元目標

- (1) 世界の人々の衣食住の様子と自然及び社会的条件とのかかわりを意欲的に追究させ、異なる文化について尊重する態度をもたせる。(関心・意欲・態度)
- (2) 世界の人々の生活と宗教、歴史的な背景とのかかわりについて、多面的・多角的に考察させ、自分の言葉で表現させる。(思考・判断・表現)
- (3) 世界の人々の生活が多様に広がることを、様々な写真や資料から読み取らせ、生活とのかかわりについて適切にまとめさせる。(資料活用の技能)
- (4) 世界の人々の生活が多様であること、その生活とかわる自然及び社会的条件について理解させる。(知識・理解)

5 単元の指導計画と評価の重点(全6時間) ——— 評価(授業中) ——— 評価(授業後)

主な評価場面と学習内容 (事実的な知識・基本的な技能)	時間	評 価 規 準			主な言語活動の 具体的場面	
		関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能		知識・理解
パフォーマンス課題の設定 世界の人々の衣食住には、様々な違いがあることを理解する場面 ○ 民族衣装 ○ 世界の住居 ○ 伝統的な食事	1	世界の様々な地域に暮らす人々の衣食住について意欲的に追究することができる。 【観察】			世界の人々の衣食住が多様に広がっていることを理りすることができる。 【ノート】	《読み取り・説明》 世界の人々の衣食住にかかわる写真や資料を読み取り、違いが見られる原因を説明する場面
暑い地域と寒い地域の暮らし 暑い地域、寒い地域に暮らす人々は、気候に適した生活を営んでいることを理解する場面 ○ 乾燥帯 ○ 寒帯 ○ 亜寒帯 ○ チャドル ○ 毛皮の服 ○ イグルー ○ 土づくりの家	1		暑い地域、寒い地域に暮らす人々の生活の様子を写真や資料などから読み取ることができる。 【ノート】	暑い地域、寒い地域に暮らす人々の生活は、気候に適した生活を営んでいることを理解することができる。 【ノート】		《読み取り・解釈》 乾燥帯や寒帯・亜寒帯の地域では、土づくりの家やイグルーをつくったり、遊牧をしたりなど、気候に適した工夫をしていることを写真や資料から読み取り、解釈する場面
山岳地域と島嶼地域の暮らし 山岳地域と島嶼地域に暮らす人々は、様々な地理的条件を生かした生活を営んでいることを考察する場面 ○ 高山 ○ 島国 ○ 熱帯 ○ 熱帯雨林 ○ 高床式の家 ○ ポンチョ ○ とうもろこし ○ タロイモ	1		山岳地域、島嶼地域に暮らす人々が地理的条件をどのように生かして生活を営んでいるか、その背景を考察することができる。 【ノート】	山岳地域、島嶼地域に暮らす人々の生活の様子を写真や資料などから読み取り、つながらを解釈することができる。 【観察+ノート】		《読み取り・解釈》 アンデスの人々がアルパカなどの家畜と共に暮らしていること、ミクロネシアの人々が、海と共に生きている様子を写真や資料から読み取り、解釈する場面
温暖な地域、低い地域の暮らし 温暖な地域と低い地域に暮らす人々は、地形や気候に適した生活を営んでいることを考察する場面 ○ 温帯 ○ 低地 ○ ボルダグ ○ 木ぐつ ○ 石づくりの家 ○ 米 ○ 木づくりの家 ○ 小麦 ○ 酪農	1	温暖な地域、低い地域に暮らす人々が地形や気候を生かして生活を営んでいる様子を探ることができる。 【観察】	温暖な地域、低い地域に暮らす人々が地形や気候をどのように生かして生活を営んでいるか、その背景を考察することができる。 【ノート】			《読み取り・解釈》 住居に木や石を利用したり、狭く海拔が低い国土を干拓によって農業に利用したりするなど、地形や気候を生かして生活を営んでいることを写真や資料から読み取り、解釈する場面
様々な宗教と暮らし キリスト教やイスラム教などの宗教が様々な地域に分布し、そこに暮らす人々の生活にもかかわりがあることを理解する場面 ○ キリスト教 ○ イスラム教 ○ ヒンドゥー教 ○ 仏教 ○ 言語	1		様々な宗教、歴史的な背景が人々の生活にかかわり、影響を与えていることを読み取り、解釈し、その関係を説明することができる。 【ノート】	様々な宗教と人々の生活とのかかわり、歴史的な背景について、理解することができる。 【ノート】		《読み取り・説明》 世界の宗教分布、宗教による生活の違いを示す資料から、宗教と人々の生活とのかかわりを写真や資料から読み取り、説明する場面
パフォーマンス課題の追究 パフォーマンス課題に取り組み、自己の主張をお互いに表現し、練り上げる場面 ○ パフォーマンス課題の追究 ○ 予備的ルーブリックによる相互評価 ○ パフォーマンス課題に対する練り上げ	本時		グループ活動において、ワークシートを用いて、自己の主張を視点に基づいて論理的に表現することができる。 【観察+ワークシート】	世界の人々の生活とかわる自然及び社会的条件について理解することができる。 【ワークシート】		《論述》 パフォーマンス課題に対して、今までの学習内容を基に、自己の主張を練り上げる場面
全6時間における各評価観点の配当時数		②	3	2+①	1+③	○数字は、授業後に行う評価の回数を表す

6 本時の実際（6／6）

(1) 主 題 「どこの国の様子が調べてみよう！」

(2) 本時の目標

ア グループ活動において、ワークシートを用いて、自己の主張を視点に基づいて論理的に表現させる。(思考・判断・表現)

イ 世界の人々の生活とかかわる自然及び社会的条件について理解させる。(知識・理解)

(3) 主題の考察

本単元を学習するに当たり、暑い地域や寒い地域、山岳地域や島嶼地域、温暖な地域や低い地域などの気候や地形の下での人々の生活の様子、様々な宗教にかかわる人々の生活の様子について学習してきた。その中で、世界の人々の生活が、気候や地形などの自然的条件、宗教や民族、歴史的な背景などの社会的条件に影響を受けたり、生活にそれらの条件を生かしたりしていることで多様に広がり、様々な文化や習慣を生み出していることを理解してきた。

生徒は、事前に行ったアンケートの結果によると、「エジプトでは、何でつくられた家が多いか」という問いには、「土でつくられた家」と答えられた生徒が8名（20％）いたが、「どうして、そのような家になるのか」の問いには、「暑いから」「乾燥しているから」「砂漠があるから」と気候や地形を理由に挙げて、答えられた生徒は6名（15％）しかいなかった。一方で、「石や木、藁、竹などからできた家」と答えた生徒も22名（55％）おり、その理由も「涼しい」「通気性がある」と答えた生徒が15名（38％）、「分からない」と答えた生徒も7名（18％）いた。また、「エジプトでは、どのような物を食べてはいけないか」の問いには、「イスラム教の教えだから、豚肉は食べてはいけない」と答えられた生徒は10名（25％）いたが、「牛肉を食べてはいけない」と答えたり、「分からない」と答えたりする生徒が22名（55％）いた。このことから、世界の人々の衣食住の視点と自然及び社会的条件とを正しく関連付けて理由を述べられていないことが分かった。

指導に当たっては、今まで学習した内容を基に、パフォーマンス課題である「どこの国の様子が調べてみよう！」に取り組ませる。その際、世界の人々の生活を見ていく上での視点である「衣・食・住」と自然及び社会的条件などのかかわりを意識させながら追究させ、自己の主張をまとめさせていくことにした。具体的には、世界の人々の生活が多様に広がることを理解させるために、国土面積が広く、気候や宗教、民族など、様々な面をもつアメリカ合衆国、熱帯に位置し、島々からなり、キリスト教徒の多いフィリピン、国土のほとんどが砂漠で覆われ、イスラム教徒が多く、独特の文化をもつエジプトの3カ国を取り上げることにした。それらの国々で見られる人々の生活の様子について、気候や地形、宗教などの視点から多面的・多角的に考えさせ、それらの国々がどのような地域に位置しているのか見当を付ける活動を行う。また、授業の最後には、自己の主張をグループで表現させる活動や予備的ルーブリックを活用した相互評価を通して、不足している自然及び社会的条件に気付かせ、自己の主張を見直し、さらに練り上げさせることで、生徒の思考力・判断力・表現力を高めさせていきたい。このような活動を通して、世界の様々な地域に対しての関心を一層高め、世界の人々の生活と自然及び社会的条件とのかかわりを意欲的に追究するとともに、異なる文化を尊重しようとする態度を養っていきたい。

(4) 研究に関する指導の工夫

【教科論 6-(2)-ウ 単元内容による効果的なパフォーマンス課題の設定の工夫】

パフォーマンス課題を単元初めに示すことで、各時間の学習内容のつながりや学習活動の流れの見通しをもたせる。

【教科論 6-(2)-イ ルーブリックによる評価】

予備的ルーブリックを活用して生徒に相互評価を行わせ、自己の主張を見直し、練り上げさせる活動に取り組み、思考・判断・表現の一体化を図る。

(5) 本時の展開 (6/6)

主な発問や指示	単	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点	情報提示の方法と内容
<p><問題把握></p> <p>○ パフォーマンス課題に取り組んでみよう。</p>	3分	<p>1 パフォーマンス課題を確認する。</p> <p>2 学習課題を設定する。</p>	<p>1 今までの学習内容を生かして、パフォーマンス課題を意欲的に追究しようとする姿勢をもたせる。 【教科論 6-(2)-ウ】</p> <p>2 本時の学習内容を確認させ、学習課題を設定する。</p>	<p>ビデオ 空港での映像</p>
<p>どこの国の様子が調べてみよう！</p>				
<p><本質究明></p> <p>○ パフォーマンス課題を解決するために、必要な情報は何か考えてみよう。</p> <p>○ 資料を基に、3カ国がどこの国か調べ、自己の主張を書こう。</p>	3分	<p>3 パフォーマンス課題を解決するために、必要となる情報を考える。</p>	<p>3 今まで学習した内容を基に、考えさせる。</p>	<p>プリント どこの国の様子が調べてみよう！</p>
	15分	<p>4 資料を基に、3カ国に見られる生活の特色を調べ、自己の主張を書く。</p>	<p>4 パフォーマンス課題に対して、資料を基に、多面的・多角的に考察し、自己の主張を書かせる。</p>	<p>資料 エジプトの生活 フィリピンの生活 アメリカの生活</p>
<p>○ パフォーマンス課題に対して、資料からどのように考えたか、グループで互いの主張を発表し、相互評価してみよう。</p>	12分	<p>5 グループで、自己の主張を発表し、相互評価を行う。</p>	<p>5 資料を基に、どのように考えたか、自己の主張を論理的に発表させ、相互評価させる。 【教科論 6-(2)-イ】</p>	<p>プリント どこの国の様子が調べてみよう！</p>
<p>↓</p>				
<p>【思考・判断・表現】 グループ活動において、ワークシートを用いて、自己の主張を視点に基づいて論理的に表現させる。</p>				
<p>○ 全体発表を聞き、自分の考えを発表してみよう。</p>	9分	<p>6 全体発表を聞き、意見を発表する。</p>	<p>6 全体発表に対して、自己の主張と照らし合わせながら発表を聞き、自己の主張に不足している自然及び社会的条件に気付かせる。</p>	<p>実物投影機 生徒の作品</p>
<p>○ 自己の主張を修正し、練り上げてみよう。</p>	5分	<p>7 自己の主張の練り上げをする。</p>	<p>7 パフォーマンス課題に対する自己の主張を修正し、完成させる。</p>	<p>プリント どこの国の様子が調べてみよう！</p>
<p>↓</p>				
<p>【知識・理解】 世界の人々の生活とかかわる自然及び社会的条件について理解させる。</p>				
<p><洞 察></p> <p>○ これまでの学習を振り返り、世界の人々の生活にどのようなことがかかわっているのだろう。</p>	3分	<p>8 世界の人々の生活と自然及び社会的条件のかかわりについて考える。</p>	<p>8 これまでの学習内容から、世界の人々の生活が自然及び社会的条件とかかわり、多様に広がっていることを気付かせる。</p>	

□ は評価場面, ○ は授業中における評価観点, ○ は授業後における評価観点

(6) 主な資料

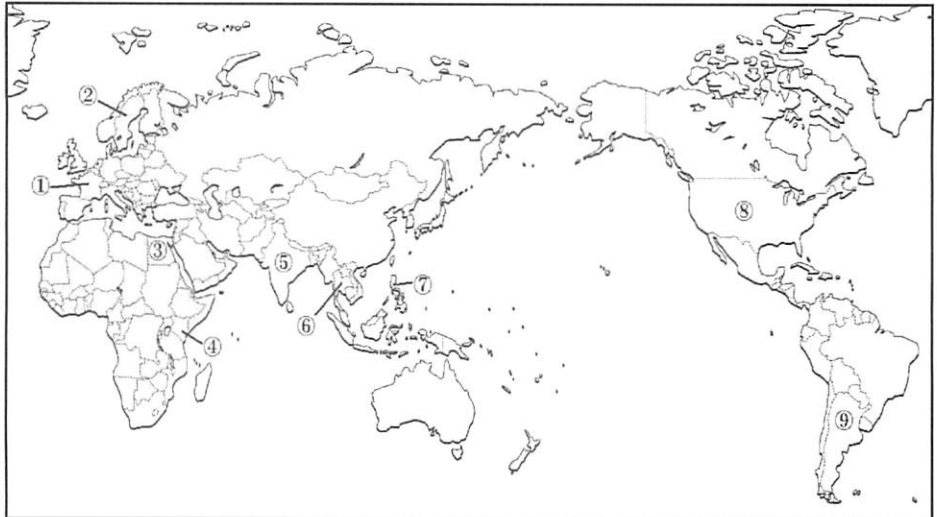
資料 1

〈パフォーマンス課題〉

「どここの国の様子が調べてみよう！」

あなたは、「世界の果てまで行ってK!」のレポーターです。毎回、目くしをされて色々な国に連れて行かれ、その国がどこかを調べ、レポートしています。さて、今回も3カ国（資料A～Cの国）のレポートをすることになりました。「世界の果てまで行ってK!」の番組をつくるためにも、あなたは、ここがどこかを調べなければいけません。限られた情報しかありません。さあ、どここの国の様子でしょう？

（どここの国の様子分かるために どんな情報が欲しいですか？）



（なぜ、上の国だと考えたのか、その理由を文章で書こう!）

資料A

資料から分かるこの国の様子は、

だから

わたしが考える国は（ ）番で

国名は（ ）である。

資料B

資料から分かるこの国の様子は、

だから

わたしが考える国は（ ）番で

国名は（ ）である。

資料C

資料から分かるこの国の様子は、

だから

わたしが考える国は（ ）番で

国名は（ ）である。

資料 2

資料Aの国



↑ 朝食の様子（11月25日撮影）



↑ 水辺で生活する人々の家



↑ 市場での様子



↑ この国の首都にある建物